

苦境を乗り越えるための一手！ 「ヒト主体」企業の機械導入



POINT

新機導入で
次世代の獲得を
目指します。



有限会社 トガシ製作所

代表取締役
富樫 幸規 Togashi Kouki

〒018-0436
にかほ市樋目野字中山39
TEL.0184-36-3366
<http://togashi-product.com>

ものづくりの総合デパート

有限会社トガシ製作所は、にかほ市を拠点とする産業機械の部品加工メーカーだ。1986年の設立以来、「ものづくりの総合デパート」というスローガンのもと、フライス加工、焼き入れ、研磨、ワイヤー放電カット、板金など、多工程をワンストップ体制で実現してきた。

「業界では、ある分野に特化した『オンリーワン』の企業が増えるなかで、敢えてそこは選ばず、『あそこに頼めば7～8割まで仕上がる』と思ってもらえる企業を目指してきました」と話すのは、代表の富樫幸規氏。自社の技術だけでは難しいものは、協力工場の力を借りながら総合的に供給し続けてきたという。

次世代への継承にむけて

このたび、センターの制度を活用し、マシニングセンターをリースで導入した。これにより、これまでは汎用機を使用しながら人の手で行ってきたものが、プログラミングのもと、

自動で製造することが可能となった。

「少子高齢化の時代。人の手で作る技術は大切ですが、それを次世代に継承していくのは不可能に感じています」と富樫氏。現在、11名の従業員のうち過半数が40代以上。この先、若い世代の獲得のためには、卓越した職人技術よりも、誰もができる環境が必要になってくる。

産業機械業界は電子部品不足などの影響で、過去に例を見ない不況が続いている。「これまで国外生産に頼ってきた形を根本的に変えていかなければならないが、果たして変えられるものなのか……」と、富樫氏。先の見えない状況を打破するため、新規顧客の開拓を進めている最中だ。

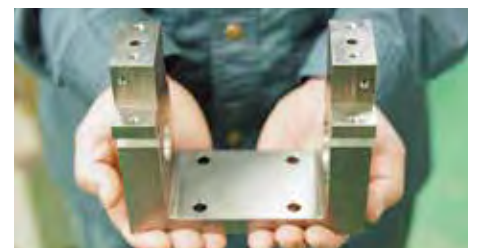
「どんなに機械の導入をしても、最終的に大事なのは人だと思っています。これまで、工程ごとにみんなで話し合いながら顧客の声に応じてきました。そういった、人が関わる部分を大事にしながら、新しい価値を作っていきたいと思っています」。



マシニングセンターはすべてタッチパネルで操作し、プログラムしていく。



創業者で現会長の富樫幸治氏。
創業時から「ヒト主体」の思いは変わらない。



「角もの」と呼ばれる部品を中心に製造。
取引先の9割以上が県外という。

▶活用事例 **設備投資支援** 設備の導入により、経営基盤の強化を目指す企業に対し、必要とする設備を割賦販売またはリースします。

【お問い合わせ】設備・研究推進課 TEL.018-860-5702